



2023年7月28日

株式会社商船三井
株式会社商船三井内航
田渕海運株式会社
新居浜海運株式会社
村上秀造船株式会社
阪神内燃機工業株式会社

「内航初のメタノール燃料船建造に向け HAZID を実施」

株式会社商船三井、株式会社商船三井内航、田渕海運株式会社、新居浜海運株式会社（以下共有船主3社）、村上秀造船株式会社、阪神内燃機工業株式会社及び日本海事協会は、カナサシ重工に集まり、ClassNK コンサルティングサービスのガイダンスの下、メタノールを船用燃料に使用するエンジン搭載の内航タンカー（以下、「本船」）の HAZID を実施しました。

本船は商船三井内航・田渕海運・新居浜海運の三社が共同保有し、三社は 2022 年 12 月 28 日に村上秀造船と建造契約を締結しました。村上秀造船グループの株式会社カナサシ重工にて建造、2024 年 12 月竣工予定です。本戦略的提携に基づき、商船三井は本船開発の技術面におけるサポートおよび本戦略的提携の更なる推進・展開を、阪神内燃機工業はメタノール船用燃料エンジンの開発を行っております。

本船の最大の特徴はメタノールを燃料とした主機関ですが、楔形水線と逆涙滴バルブ船首、省エネ船尾パッケージ、運航支援システムや自動荷役システムを備えた最新鋭の省エネ船舶となります。

船舶からの排出ガス規制が国際的に強化される中、従来の船用燃料重油と比較し、 SO_x に加えて、地球温暖化の原因となる CO_2 や、酸性雨等の原因となる NO_x の排出量も大幅に削減できるメタノールは、船用燃料としての大きな可能性を秘めています。最新鋭のメタノール燃料船の検討を進めることで、環境負荷低減に努め、安全、安心な輸送サービスを提供していきます。

(註1)HAZID (Hazard Identification Study) :システムの潜在的危険についてその危険の大きさと発生頻度を専門家間で討議し、システム全体として十分な安全性を持つようにするリスク評価・管理手法。

【本船概要】 総トン数 約 570 トン 全長 約 65.50m 全幅 10.00m 喫水 約 4.38m 航海速度 11.15 ノット以上 主機関 阪神内燃機 船舶用メタノールエンジン「LA28M」